

令和 2 年 1 2 月 2 3 日
第10回多言語対応協議会

交通分科会取組状況報告

交通分科会事務局
東京都都市整備局

多言語対応協議会 交通分科会の取組について

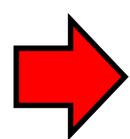
多言語対応協議会交通分科会の取組背景



空港など各交通機関・各主体において
多言語化や案内表示の工夫などを行い、相当程度取り組みが進んでいる

一方・・・

鉄道事業者ごとに設置される案内サイン表記の統一や
乗換案内などの連続性の確保などが課題



外国人旅行者等が不安を感じることなく、
かつ、円滑に移動できるように必要な案内を多言語で表示する

多言語対応協議会 交通分科会の取組について

多言語対応協議会交通分科会 取組方針

- ターミナル駅等では、分かりやすい案内表記を実現するため、各主体が連携し、各主体間の垣根を越えた取組を進める。
- ケーススタディとして多様な交通機関が乗り入れる**新宿駅**を対象とし、より多くの関係者が参画した会議体を設置し、さらに議論を進めていく
- 新宿駅の取組を参考にしつつ各主体が相互に協力・連携体制を構築し、他の駅等にも広げていく。



多言語対応協議会 交通分科会の取組について

■ 管理者ごとに設置されていたサイン（代表例）

JR東日本



京王電鉄



小田急電鉄



(例)

Keio New Line

Keio Shinsen Line

東京都建設局



表記非統一
異なるレイアウト
異なるピクトグラム 等

新宿駅の取組

事業者ごとに異なる案内サインを統一化し、分かりやすく改善

【基本ルールを策定】



結節空間ロゴ
(施設等のまとまりを表現)

主な歩行目標地

ピクトグラム＋路線名＋路線マーク

(日英二カ国語表記)

新宿駅の取組

【基本ルールを策定】 …サイン整備の基本的な事項の取りまとめ



【整備計画を策定】 …ルールに基づき実施する内容と時期を明確化



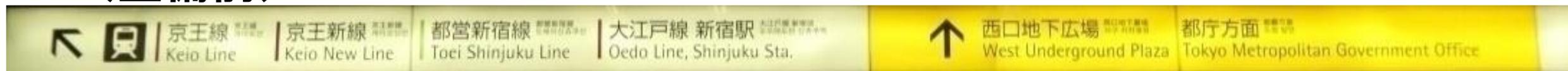
【サイン計画を策定】 …サインの配置や具体的な表示内容などを定めた

多言語対応協議会 交通分科会の取組について

新宿駅の取組

基本ルールに沿って案内サインを改善

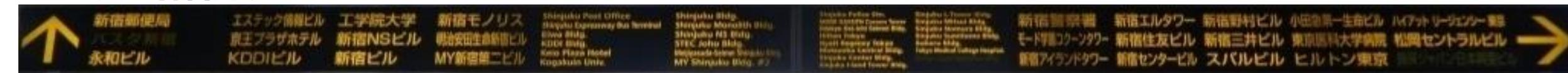
(整備前)



(整備後)



(整備前)



(整備後)

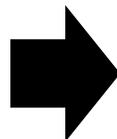


多言語対応協議会 交通分科会の取組について

新宿駅の取組

案内サインの整備を順次実施（平成29年10月～）

(例)

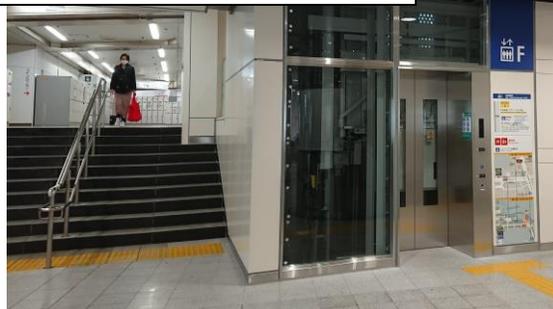


その他、利便性向上に向けた取組として乗換経路のバリアフリー化等も実施

点字ブロック整備



新規EV設置



※EV本体にも
二カ国語で案内

多言語対応協議会 交通分科会の取組について

新宿駅の取組

令和2年7月 東西自由通路開通

(例)



案内動線の変更等、関係者間で調整し、
一斉に駅構内のサインを変更



東西自由通路

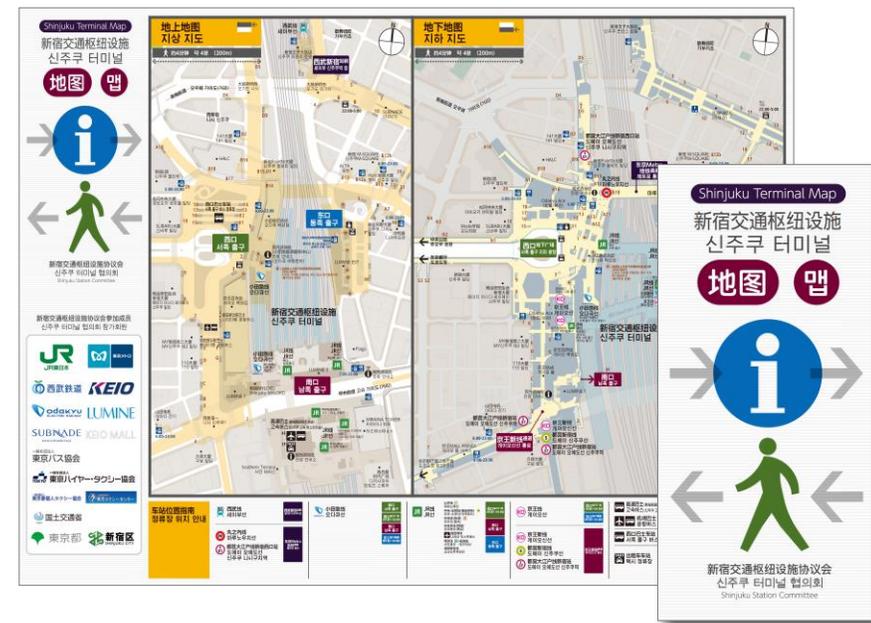
多言語対応協議会 交通分科会の取組について

ターミナルマップの配布

日英中韓の四カ国語表記のマップを作成・配布

日英版・2017年9月～

中韓版・2018年8月～



新宿駅における案内誘導アプリの実証実験（都市整備局）

- GPSが届かない屋内でも自己位置を表示しながら案内誘導を行うアプリについて民間による開発を促進
- モニターを募集し、新宿駅でアプリを体験いただく実証実験を実施（2020年11月25日～12月24日） ※二カ国語対応



実証実験の様子

他のターミナル駅の取組例

渋谷駅



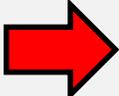
- エリアマネジメント協議会が中心となり、駅周辺再開発に合わせて案内サイン整備を実施（2018年4月～）

池袋駅



- 豊島区が中心となり、案内サイン整備を実施（2018年11月～）

このほか品川駅、浜松町駅、東京駅、日暮里駅、立川駅、八王子駅の主要ターミナル駅で同様の取組を実施！！

 今後他のターミナル駅へも取組を拡大

御清聴ありがとうございました